



☆第67回秋田県高等学校総合体育大会

(陸上競技 5月28~31日、バドミントン 6月4~7日、ハンドボール 6月5~8日)

令和3年度の全県総体が終わりました。目標を達成させようとの選手も精一杯がんばってきたと思います。全県総体を終えた部活動のキャプテンに大会の感想などを教えてもらいました。

陸上競技部 主将

3年生の締めくくりとなる全県大会が5月28日から4日間に渡って行われました。雨が降り、天候に恵まれない状況下での競技でしたが、私はメインとなるハンマー投げで自己ベストを出すことができました。3年生全員、最後の大会を全力で、存分に楽しんで終えることができました。1・2年生の部員は今しかない時間を大切に、全力で部活動に向かってほしいです。

今まで応援・支援していただいた先生方・家族・関係したすべての方々に感謝したいです。2年間ありがとうございました。これからも陸上競技部をよろしく願います。



バドミントン部 主将

私たちバドミントン部は6月4日~7日に行われた全県総体へ出場しました。全員が目標としていた全県優勝は達成できませんでしたが、しかし、引退する3年生やこれから新チームを引っ張る2年生にとって、諦めずに努力する大切さと楽しさを学ぶことができました。入部してから引退まではあっという間なので、1・2年生には練習に真面目に取り組むことはもちろんのこと、挨拶、返事、感謝の気持ち、掃除をしっかりしてほしいです。

男子ハンドボール部 主将

僕たちハンドボール部は、打倒湯沢高校を目標に全県総合体育大会に挑みました。1回戦は大曲農業高校と対戦しました。前半は相手のペースに呑まれ思うようにプレーができませんでした。後半は試合の流れを羽後高校のペースにすることができましたが、負けてしまいました。2回戦は秋田南高校と対戦しました。前半後半ともに羽後高校のペースで試合が進み、勝つことができました。ですが、得失点差で決勝戦には出場できませんでした。次は2年生主体の新チームで目標を実現できるように頑張ってください。応援ありがとうございました。



<主な成績>

○陸上競技部

- 男子走り高跳び 第7位 記録1m70
- 男子円盤投げ 第28位 記録21m70
- 男子ハンマー投げ 第11位 記録30m26
- 女子円盤投げ 第9位 記録23m77

○バドミントン部

- 団体戦 1回戦 羽後 対 六郷 3-0、2回戦 羽後 対 秋田中央 0-3
- 女子シングルス 1回戦 対 高専 2-0、2回戦 対 秋田南 0-2

○男子ハンドボール部 第3位

- 予選リーグ 羽後 対 大曲農 24-32、羽後 対 秋田南 33-29



☆県民参加の森づくり事業についての講話（6月8日(火)6校時 本校体育館）



先日行った、シイタケの植菌体験に続いて6月8日に県民参加の森づくり事業についての講話が行われました。

今年度講話をしていただいたのは、秋田県林業研究研修センター総務企画室長の菅原冬樹先生です。「森林に学ぶ『植物』と『キノコ』の関係」という演題でたくさんのキノコの写真をを見せていただきながら、森林におけるキノコの役割などをお話してくださいました。

＜生徒の感想＞（抜粋して紹介します。）

1年B組 男子

キノコは思ったよりも身近なものだということに気づきました。僕はキノコが苦手なのですが、今回講話を機にキノコにチャレンジしてみようと思いました。

2年A組 女子

キノコは石器時代の頃から人々の助けになっていたことに感動しました。「植物」と「キノコ」の関係はとても面白く、キノコは人間の助けになっている大切な生物の一つだと分かりました。

2年B組 女子

なくなった森林を再生するためにきのこの菌を植物の種と一緒に蒔くという話が一番心に残っています。植物を目にするたびに、この植物はどのようなきのここと共存しているのかと思うようになりました。

3年A組 女子

キノコがないと育たない植物があることや秋田県の豊かな森林はキノコによって作られていることにとっても驚きました。これから、自分たちが植えたキノコの観察をしたり、疑問に思ったことを調べるなど積極的にキノコと関わっていきたいです。



菅原先生のお話の中で、生徒たちが特に印象に残ったことは、シイタケを最もよく食べる都市は秋田市であることやキノコの菌があることで豊かな森林が育まれるため、砂漠に木の苗だけを植えても木は育たないとのことでした。普段、食料として見ているキノコですが、私たちの生活だけでなく、森林などの環境にとっても大切でなくてはならないものであることが分かりました。

講話の後に質問コーナーがありましたが、多くの生徒から菅原先生へ質問がありました。初めに挙がったのは、3年A組の女子生徒からの、教室で栽培している栽培キットのシイタケと先日植菌したシイタケの収穫できるまでの時間の長さが違うのはなぜかという質問でした。菅原先生からは菌床シイタケと原木シイタケの違いについて説明していただきました。その他にも質問が挙がり、キノコへの関心の高さがうかがえました。

講話をしていただいた菅原冬樹先生、たくさんの貴重なお写真と楽しいお話を本当にありがとうございました。講話により、シイタケ部(仮)もより一層作業に気持ちがこもります。



☆編集後記

次号では、大運動会の様子と2回目のシイタケ部(仮)の活動についてお知らせいたします。運動会は天気予報に裏切られ、大変な場面もありました。逆に思い出深い運動会となっていれば良いのですが…